

# 置換積分

1

$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{(r^2+x^2)^{\frac{3}{2}}} dx$ をどうやって積分するか。以下はA, B二人の会話です。

A: 中の関数が複雑だね。簡単にしよう。

B: どう置き換えれば簡単になるかな。式の中に平方の和の形があるね。

A:  $1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$ の式があるので、これを使えば簡単になるんじゃない?

B: そうだ、 $x = r \tan \theta$ と置き換えてみよう。やってみるよ。

$$\begin{aligned} \frac{1}{(r^2+x^2)^{\frac{3}{2}}} &= \frac{1}{(r^2+r^2 \tan^2 \theta)^{\frac{3}{2}}} = \frac{1}{r^3} \frac{1}{(1+\tan^2 \theta)^{\frac{3}{2}}} \\ &= \frac{1}{r^3} \frac{1}{\left(\frac{1}{\cos^2 \theta}\right)^{\frac{3}{2}}} = \frac{\cos^3 \theta}{r^3} \end{aligned}$$

A: 簡単になった。じゃあ、与式を置き換えてみるよ。

$$\text{与式} = \int_{-\infty}^{\infty} \frac{\cos^3 \theta}{r^3} dx$$

B:  $r$ は定数なので外に出せるね。

$$\text{与式} = \frac{1}{r^3} \int_{-\infty}^{\infty} \cos^3 \theta dx$$

A: だいぶ簡単になったけど、何か変だね。

B: 被積分関数の変数は $\theta$ だけど $x$ で積分しなければいけないよね。

A: 変数が違うね。変数が同じでなければ積分できないはず。

B: 変数を同じにするにはどうしたらいいんだろうか?

A:  $\theta$ で積分するには $d\theta$ がなければならないよね。

B: 与式は $dx$ だけれど、どう置き換えればいいのか?

A:  $dx = \frac{dx}{d\theta} d\theta$ と置けばいいのでは?

B: そうだね。でも、積分区間はたしか $x$ の値だよ。  $-\infty < x < \infty$ のはずで、 $\theta$ で積分するには積分区間は $\theta$ の範囲のはず。

$-\infty < x < \infty$ を $\theta$ の範囲に変えるにはどうしたらいいんだ?

A:  $x = r \tan \theta$ のグラフを書いてみようよ。右のようになったよ。

B: このグラフを見ると、 $-\infty < x < \infty$ のときは

$-\frac{\pi}{2} < \theta < \frac{\pi}{2}$ でいいよね。

A: じゃあこの積分は、こうなるね。

$$\frac{1}{r^3} \int_{-\infty}^{\infty} \cos^3 \theta dx = \frac{1}{r^3} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \cos^3 \theta \frac{dx}{d\theta} d\theta$$

B: でも、この式の中の $\frac{dx}{d\theta}$ で、なんだ?

A: これ、 $x$ を $\theta$ で微分することじゃないの?

B:  $x = r \tan \theta$ だから、 $\frac{dx}{d\theta} = r(\tan \theta)' = \frac{r}{\cos^2 \theta}$ だね。

A: じゃあ、与式に代入してみよう。

$$\text{与式} = \frac{1}{r^3} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \cos^3 \theta \frac{dx}{d\theta} d\theta = \frac{1}{r^3} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \cos^3 \theta \frac{r}{\cos^2 \theta} d\theta = \frac{1}{r^2} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \cos \theta d\theta$$

B: お!、驚くほど簡単になったじゃないか。

A: でも、 $\cos$ の積分習ってないよ。

B: 積分は微分の逆演算だから、微分して $\cos \theta$ になる関数を探せばよいのではないか?

A: そうか、 $\sin \theta$ を微分すると $\cos \theta$ になるので、 $\cos \theta$ を積分したら $\sin \theta$ じゃない?

B: そうだね。

$$\int \cos \theta = \sin \theta + \text{積分定数}$$

となるね。

A: じゃあ、積分できるね。

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{(r^2+x^2)^{\frac{3}{2}}} dx = \frac{1}{r^2} \int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} \cos \theta d\theta = \frac{1}{r^2} [\sin \theta]_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}}$$

$$= \frac{1}{r^2} \left( \sin \frac{\pi}{2} - \sin \left( -\frac{\pi}{2} \right) \right) = \frac{2}{r^2}$$

B: できた。めでたし、めでたし。

